

越谷市 手をつなぐ育成会だより やまびこ

編集 越谷市手をつなぐ育成会
会長 高野 淑 恵
〒343-0021 越谷市大林235-9
TEL・FAX 048-977-1908
発行 公益社団法人 埼玉県手をつなぐ育成会
理事長 高野 淑 恵
〒330-0063 さいたま市浦和区高砂
2-15-3 母子福祉会館内
TEL 048-833-0444
FAX 048-833-0400
発行日 令和4年6月30日
購読料 20円は会費に含む



『自分の居場所』

平素よりご支援ご協力戴いております皆様、誠に厚く御礼申し上げます。感染者数はかなり下がってきましたが、油断することなく、「コロナが終息するまで感染対策を続けましょう。」さて、越谷市では市内の障害者施設で起きた虐待事件がクローズアップされています。介護ヘルパーが、熱したフライパンを利用者の身体に押し当てて熱傷を負わせたという事件です。相当以前からこの虐待行為を繰り返して行ってきたようで、他の利用者へも同様の虐待をしていた疑いもあります。被害に遭った男性の身体には古いやけどの跡もあり、痛かっただろう、つらかっただろうと思うと、被害者を「一人の人間」として考えてもいけないこの加害者は「鬼畜」としか言いようがありません。

折りしも、6月は議会のある月であったため、ある議員が一般質問でこの事件を取りあげて白らのsnsで公表、拡散されてしまいました。その後、某新聞が議会でのやり取りを掲載しました。しかしながら、議員の質問も新聞記事も、市の担当課があたかも故意に事件を放置していたような内容で、一番大切なことには全く触れていません。肝心ののは、自分で自分の身を護れない障害者に長期にわたり繰り返し虐待が行わ

越谷市手をつなぐ育成会 会長 高野 淑 恵

れていたことで、それは、絶対に許されない犯罪です。そして、そうした悪質な犯罪を放置してきた法人にこそ、非常に重大な管理責任があるということですが、何よりも惨たらしい被害に遭われた男性が、今後二度とこのような被害に遭わないように、万全の生活環境を緊急に確保することです。

この男性が、「こんな施設には居たくない！」と言ってくれたのなら、市の担当課ももっと迅速な対応を被害男性に対して取れたらと思うます。

しかしながら、知的に障害のある人の多くが、自分の環境を簡単には変えられないのです。自分の未来を想像する力がとても弱く、急な予定変更やイシギユラーな出来事に大きな不安を抱いてしまいます。想像して判断を下す力が弱いこと、自分の人生を考えるうえでの選択肢が障害者にはほとんどないからです。今回、被害に遭った男性も、こんなに酷い虐待を受けてさえ、「今のホームに居たい」と言っています。自分の「居場所」を必死に守ろうとしているのです。ですから、「この男性が二度と再びこのような虐待を受けずに安心安全に暮らしていけるよう、早急に環境を整備することが何よりも重要でした。」

担当課がそのために懸命に動いていたことを私は知っています。鬼畜の如き職員を解雇する権限は、担当課にはありません。それは雇用責任者である法人が有していますから、この法人の意識改革と内部からの浄化を、何とか進めようとして担当課は苦慮していました。被害男性とご家族がsnsなどの二次被害に合わないようにも苦慮していました。遅々として進まなかったのはそのためであり、事件を隠べいしようとか放置していた訳では決してありません。

2016年に起きたやまゆり園事件のときも、あれだけのホロコーストを引き起こした法人の代表たちが「自分たちも被害者である」と会見で答えていて、私は物凄く腹が立ち、物凄く呆れました。絶対に護らなければならぬ利用者を、護れなかったことを謝罪するより先に自分たちの保身を図るとは、管理責任どころか障害者の命さえ軽視しています。

だからと言って、この事件の後、利用者の多くが別の施設に移ったかと言えばそうでもありません。知的に障害のある人たちにとって、「自分の居場所」は、哀しいかな、命にも換え難いものなのです。この被害男性が、今後は幸せに暮らせますようにと祈ります。そして私たちは虐待を絶対に許しません。

千草園だより

新型コロナウイルスの終息もまだ終わりの見えない中ですが、感染予防をしながら少しずつ活動を増やせていけたらと思います。今回は、千草園の活動の様子をお伝えします。

春のバーベキュー



in 千草園

四月二十二日(金)に毎年恒例の春のバーベキューを実施しました。今年度も昨年度に引き続き、室内での実施となりましたが、今年度は新入所者を迎えて、「新入所者歓迎バーベキュー」として実施しました。令和四年度の活動グループ二班に分かれて、それぞれ話し合いをして食材やメニューを決めて準備、調理をしました。準備の後、お肉を中心にみんなで決めた食材での料理を食べま

した。みなさんの顔には笑顔が溢れていました。お腹もいっぱいになったところで協力して片付けまでみんなでしっかりとおこないました！



日帰りのバス旅行

in 江ノ島



五月二十七日(金)に日帰りのバス旅行に行きました。行き先は神奈川県江ノ島方面へ。新型コロナウイルスが流行してからの初めての県外への外出となりました。もちろん感染症対策で、検温、こまめな消毒、マスクの着用を徹底しての実施をしました。久しぶりの遠出の外出にみなさん、数日前からワクワクしている様子でし

た。昼食は茅ヶ崎にある「エムズコーヒー」さんでハンバーグランチやから揚げランチをいただきました。美味しい料理でお腹いっぱいになった後は、「新江ノ島水族館」へ行きました。水族館では、迫力のある大きな水槽に泳ぐ生き物たちをみなさん釘付けでした。もちろん、帰りにはお土産を買い、どれを買おうか、真剣な表情でお土産を選んでいました！帰りのバスの車内では、みなさんの「楽しかった」という声と「笑顔」がたくさん溢れていました。次は、宿泊旅行にも行けるようになるといいですね！(浅見)



千草園に素敵な



お花が咲いています。千草園の空いていた花壇スペースにご近隣の方のご厚意に

より、お花を植えて育ててくださいます！きれいなお花を見ると、心も穏やかになります。ありがとうございます。



新入所者の紹介

千草園に二名の仲間が加わりました！

下間 いづみ さん



吉野 裕則 さん



宜しくお願いします。

野の花だより

梅雨も明け、すっかり夏空になってきました。暑さ対策だけでなく、新型コロナウイルスへの配慮も欠かせない日々が、まだまだ続いております。そんな中でも、野の花の皆さんは元気に過ごされています。今回は、四月から六月の様子をお伝え致します。



【お楽しみ会】

四月二十二日(金)に、お楽しみ会を行いました。今回は、午前中に全員で、しらこぼとのホールに移動して、レクリエーションを楽しみました。前半は、ボール運び&じゃんけん対決を行い、後半は、フリスビー&魚釣り対決を行いました。皆さん真剣に取り組んでいて、高い点数が出た方やマイ

ナスになってしまった方等、それぞれ一喜一憂しながら久しぶりに広い中でのレクリエーションを楽しんでいました。

【調理実習】

四月二十九日(金の通所日)は、調理実習を行いました。今回は、中華に挑戦ということで、チンジャオロース、コンソメスープ、もやしと野菜の中華サラダでした。皆さん、いろいろな野菜を集中して、細かく切ることが出来ていました。自分達で作った食事は、格別でした。



【調理実習】

五月三日(火)の通所日に、調理実習を行いました。メニューは、豚の生姜焼き、マカロニサラダ、お味噌汁を皆で協力して、作りました。回を重ねるごとに、丁寧に切れるようになってきています。

見た目も美しくなっていて、美味しく出来ました。

【グループ別外出】



五月二十日(金)と三十日(月)は、グループ別で外出を行いました。午前中は、さいたま市にある「大崎公園」へ車で出かけ、園内を散策してきました。羊やカピバラ等の動物をじっくり眺めたり、かわいらしいリスやモルモットに笑顔を見せたりと、楽しく過ごされています。お昼は、徳樹庵の個室で、自分で選んだ天井やおそばのセットを食べました。何年振りかのレストランでの食事に興奮気味の人もいて、じっくり味わってきました。



【東武動物公園外出】



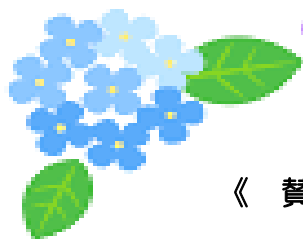
六月二十四日(金)は、東武動物公園へ車で出かけてきました。園内では、グループに分かれてアトラクションに乗ったり、動物を見ながら散策したりと、広い園内を堪能してきました。楽しみにされていたこともあり、終始笑顔が見られました。感染対策を十分に

行いながらも楽しく過ごされました。



【こぼれ話・・・】

思う様な活動が出来なかった、この二年間。ようやく一筋の光が見えてきました。対策は継続しつつ、少しずつですが活動の幅を広げていければと思います。引き続き、ご協力をよろしくお願い致します。
(高野)



会計報告

《 賛助会費 》 1,000円 (1口)

《 売上金 》

- ・わかめ 7,000円
- ・ごま 2,800円
- ・お茶 5,400円

ご支援ありがとうございます



賛助会員紹介

大森 由美子 様

よろしくお願いいたします



ありがとうございました

社会福祉法人育樹会 おぎしま園 様

たくさんのマスクを
ご寄付いただきました

《 編集後記 》

息子は、自販機の前でしばし悩んでいました。大好きなコーラ、いつものP社にするか新製品の未知の味にトライするか。私は見守ります。

障害のある方の「自己選択」について考えます。自分のことを自分で選択できることは、人として幸せなことです。先回りやお膳立てされた人生は障害のある方にとっても味気ないものでしょう。

さて、息子は新製品を「選択」しました。お好みの味ではなく、渋い顔、残念でした。

「人生、晴れの日はばかりじゃないね。この経験を次に活かそう」
(猪鼻 孝子)

千草園クッキー ご購入
ありがとうございます



小林商会 様